

## 中心市街地活性化基本計画の取組に対する長岡市中心市街地活性化協議会の意見(案)

### 【活性化状況】

- ① かなり活性化が図られた
- ② 若干の活性化が図られた
- ③ 活性化に至らなかった（計画策定時と変化なし）
- ④ 活性化に至らなかった（計画策定時より悪化）

### 【詳細】

長岡市中心市街地活性化協議会としては、本計画に位置付けられた全 56 事業について、行政、関係団体等が中心市街地の活性化に総合的かつ一体的に取り組んだ結果、約 96%に当たる 54 事業が完了または実施中であることから、本計画が順調に進捗したの  
と考える。

特に、ハード事業である「大手通表町西地区第一種市街地再開発事業」や「新・社会福祉センター整備事業」に加え、「多世代健康まちづくり事業」や「ナカドマ活用事業」などのソフト事業がバランス良く展開されたことで、目標「まちに来る人を増やす」の目標指標である平日の歩行者通行量が平成 29 年度は目標値の 100,000 人を突破し、また最終年度の平成 30 年度は目標値をわずかに下回ったものの、毎年安定して多くの来街者が来るまちに変貌したことは評価できる。

一方、目標「まちに住む人を増やす」と「まちを使う人を増やす」については、残念ながら目標値を達成できなかったため、今後は原因をしっかりと分析したうえで対策を講じていく必要がある。

地方都市における中心市街地の衰退が叫ばれる中、持続可能なまちづくりを目指して、中心市街地の特性とこれまで整備した都市機能を有効に活用し、引き続き官民一体となって中心市街地の活性化に取り組む所存である。